

第 1 1 回国立市南部地域整備基本計画の策定に伴う 市民討議会実行委員会記録（要旨）

日 時：平成 2 1 年 2 月 2 日（月）午後 7 時 0 0 分～午後 9 時 3 0 分

場 所：市役所 3 階 第 2 会議室

出席委員：5 名

欠席委員：4 名

傍 聴：1 名

事務局：4 名

会議資料：①次第

②参加申込の状況等について

③プレスリリース原稿について

④ハンドブック案、参加決定通知案

⑤当日のプログラムについて

⑥テーマと情報提供について（小針委員より）

⑦意見の取扱いについて

⑧第 1 0 回実行委員会の確認事項

⑨模擬討議会の感想（米田委員より）

⑩ドイツ式市民討議会プランクストツェレとは

⑪市民討議会までの日程について

1. 開会挨拶（小林委員長）

- ・お忙しいところお集まりいただきありがとうございます。

配布資料の確認（事務局）

2. 市民討議会の準備について

（1）参加申込の状況等について

- ・事務局から、本日現在の参加申込者数は 3 8 名であることと申込者のバス等の利用希望状況を報告した。また、事前アンケートは 1 月 3 0 日現在で 1 9 2 通の返信があり、その集計の中間報告を行った。
- ・5 0 名の定員に満たないことから、再度の参加のお願いを葉書で送ることとし、8 0 歳以上の方は申込みがないこととアンケートの回答でも外出は困難といった内容が多いことから、再度のお願いの際に 8 0 歳以上の方を除外して対応する方向を提案した。

【主なご意見】

- ・ 80歳以上の方には送らなくても良いのではないかと。
- ・ 市民討議会の本来の趣旨から考えると、年齢で差をつけず全員に出した方が良いと思う。
- ・ 次回以降の課題であるが、アンケートで欠席の表明をしている人に再度のお願いをするのは良くない。
→アンケートに住所、氏名欄を設けなかったため、アンケートを出していただいた方が特定できない現実がある。
→参加申込者と、アンケートの返信者が判明する方を除いて葉書を出す。
- ・ 葉書には、まだアンケートを出していない方はご協力をお願いします、ということも記載した方が良いかと。
- ・ 葉書は参加を依頼するのが主目的であり、アンケートのことを書くとわかりにくくなるため、読み手が混乱しないような文面にする必要があります。
- ・ 欠席の意思表示をしていただいた方に再度のお願いが届いたことについてご容赦くださいという文章は残しておいたほうが良い。
- ・ 「人数に若干の余裕がございます」という表現では、もっと参加してもらわないと困るという必死さが伝わらない。「予定の人数に達しないため」「定員にまだ若干の余裕があるので」と補うか、「ぜひご参加いただきたく」を太字にするなど工夫してはどうか。
- ・ お願いする雰囲気にはなっていない。
- ・ 参加申込が少ないといったマイナスイメージを与えないようにしたいので、「おかげさまで多数のご応募をいただきましたが」と加えてはどうか。

【集約】

- ・ 追加のお願いを葉書で送る。
対象者全員（参加申込者とアンケート返信判明者は除く）
- ・ あくまでも参加申込の追加の案内とする。
- ・ 修正案
 - ① 締め切りを過ぎましたが・・・
→おかげさまで多数のご応募をいただきましたが、定員数までに若干の余裕がありますので
→定員の3分の2のご応募をいただきましたが、・・・
 - ② なお、既にアンケートを返信いただきました方におかれましては
→なお、既にアンケートにより欠席のご連絡をいただいた方におかれましては申し訳ありませんが、
 - ③ アンケート返信者が特定できないことを入れる。

(2) プレスリリースについて

【主なご意見】

- ・ドイツの手法と書いてあるが、どういう手法かわからないのではないか。
→プランクスツェレの概要資料を添付することとする。
- ・立川青年会議所の取組として一昨年から立川記者クラブには送っているの、知っていると思う。
- ・1行目は「市民の皆様のご意見を聞くため」と表現した方がよい。
- ・大テーマを加えておいてほしい。

【集約】

- ・修正案：1行目「市民の意見を聞くため」→「市民の皆様のご意見を聞くために」
- ・大テーマを入れる。
- ・プランクスツェレの説明書を別添する。

(3) 事前配布のハンドブック案について

【主なご意見】

- ・話し合いの流れのところで立川青年会議所のイメージ写真をお借りしたいがどうか？
→顔がはっきり映っているわけではないので問題ない。
- ・開会は9時30分だが受付は9時から行っていることを記載したほうがよい。
- ・注意事項については、立川青年会議所のハンドブックに記載されている内容を利用してよい。
- ・駐車場がないことを、参加決定通知書とハンドブックの両方へ記載しておく必要がある。
- ・送迎バスの時刻や乗車場所についても参加決定通知書に記載する。
- ・参加者への謝礼を現金で支払う場合は印鑑が必要ではないか。参加決定通知書及び別紙でも注意を促すとよい。
- ・傍聴者は参加者とどのくらいの距離で傍聴できるのか？傍聴者が参加者に接触しないようにしなければならない。
→現在、会場後方に椅子を並べるなどして区画分けを行うことで考えている。グループ討議の際に各グループの近くへの移動もできないため、傍聴というより見学といった方が適切と思われる。
→会場の配置等については、次回以降詳細に検討する。

【集約】

- ・ハンドブックの話し合いの流れのイメージ写真は立川市民討議会のものを利用する。
- ・ハンドブックと参加決定通知書に駐車場のないことを記載する。
- ・参加決定通知書日時のところから9時から受付を開始することを表現する。ハンドブックの表紙にも加入する。
- ・修正：財団法人→社団法人
- ・注意事項欄
 - ①バスの乗車場所と時刻を記載する。
 - ②内容は、立川市民討議会のルール概略を基本としてアレンジする。
 - ③参加者謝礼を現金で渡すので印鑑持参のことを記載する。(別紙とする)
- ・ハンドブック及び参加決定通知書は2月4日に発送するため、最終案をメールでご確認いただく。

(4) 情報提供の内容について

- ・事務局から、情報提供者への依頼を進めていることと、中には日程的には了解を得ているが話す内容について具体的な内容を問われている状況を報告した。

【主なご意見】

2日目最後のセルのテーマ名の変更について

- ・これまでの案だとその前の2つのセルと重複してしまうという指摘から、小針委員から「今までのみなさんの意見を実現するために今後しなければならないことは何か」という変更案の提案があった。
- ・こういった投げかけの方が参加者にとってはイメージしやすいと思う。
- ・4セル目、5セル目の討議の中で具体的な実現方策についても話が及ぶのではないかと思う。6セル目で行政、民間諸団体、一般市民の三者のイメージが打ち出されているが、参加者にとっては難しいと思う。どのようにもっていけば4セル目や5セル目もさらにより前進させて連携のイメージを話しあえるようになるのかがわからない。
- ・行政や民間諸団体がしなければならないことというのは市民にとっては分かりにくいと思う。市民の皆さんがしなければならないことや何ができるかということをお話していただいた方がわかりやすいのではないか。他の団体のことは確かにわからないと思う。またこうなったらいいなという希望はあってもやりかたがわからない人にとっては、「こういう団体があります」ということを紹介いただければ市民にとっては有用な情報だと思う。
- ・「しなければならないことは何か」よりも「今後できることは何か」の方が分かり

やすいように思う。情報提供をお願いするにあたっての注意事項等

- ・情報提供者に話していただく内容について、実行委員会があまり立ち入れないのではないか。
- ・それぞれの方は自分の主張があるので、小針委員からの資料にあるとおり、話し方のルールとしてお願いする程度だと思う。
- ・テーマと話していただきたい大まかな内容について示すが、何を話すかは情報提供者が考えることと思う。情報提供の内容までは操作できないので、枠を示してお願いすることになる。
- ・何を話してもらうかについて実行委員会から提案することは意図があるように思えて扱いが難しいと思う。立場の異なる2人をお願いしていることもあるので、こういうことを話していただきたいという希望を伝えることはできても、深くは立ち入れない。また、こちらから希望を出してもそのとおりに話してくれるとは限らないということもある。
- ・以前こういうお話をされていましたがそのことを話して欲しい、というように重点を置いて話していただきたい点を伝えることはできると思う。
- ・いろいろ意見があると思うが、時間内に納めてもらえばある程度いろんな課題を話すことも仕方がないと思う。
- ・資料の「サブテーマの説明文」は各セルの情報提供の前に全体に説明するように考えられていると思われる。
- ・情報提供者に対して、この説明文よりさらに詳細な資料をつくれるのか、あるいはそれを渡すことの是非もあると思う。私自身は、細かいことまで注文をつけることには躊躇する。
- ・説明に行く時に、おおまかな枠を示して、どのようにお考えなのか聞いて、その内容でお願いするというところで進めてはどうか。
→お願いに行ってみて、他の情報提供者が誰で何を話すのかということに気になっている方もいる。また、今回話をすることが今後のまちづくりに影響するかどうかという心配もあると思う。情報提供者の依頼は慎重に対応していきたい。

各セルの情報提供の内容について

- ・平林さんは経験からも国立の歴史や文化など多面的な話をしていただけるだろうということでお一人でも良いということになった。
- ・平林さんには、基盤が未整備なこともあって今後発展する魅力という話もあるかなと思う。立場からも全体を見た話をしていただけると思う。否定的な話にならないようお願いしたいと思う。
- ・関さんは体験水田をしっかりと残して子どもたちに教えていかないとというような持論の方のようなので、農地が無くなってしまったり、道路が狭いなど農業者と生

活者としての南部の課題を発言していただけるのではないかと。

- ・田中さんは区画整理後の土地利用に関してご意見をお持ちとのことである。産廃など迷惑施設が集中している現状をお話いただけるのではないかと。
- ・観光まちづくり協会の方には、これまでどんなことをしてきたか、PRの現状と限界、今後の展望などを話していただければと思う。反対に、ミニコミ誌を出している個人の方には、組織でなく個人の動きの良さと限界などを聞けると良い。
- ・遠藤さんは区画整理事業経験者とのことなので、区画整理等を行ったことで経済的な豊かさがもたらされていくことを話していただければと思う。反対に阿部さんには、自然などお金に代えられない豊かさについて話していただくことで、視点の違う情報提供になる。
- ・6セル目は情報の提供の仕方が特に重要と思う。例えば、行政はどう対応するのが望ましいのか、一般市民はどのように行政と協働できるのかということをお話提供者の一人に話していただき、もう一人は実例などの紹介により三者の関係を話してもらえればと思う。そういった情報がないと、確かに一市民としては「何かできること」と言われても難しい。抽象的な情報提供でなく、具体的なものを期待したい。
- ・高橋さんには、まちづくりの実例や実践例をお話いただき、行政、諸団体、市民の連携の事例を話してもらいたい。国立についてのご認識も聞けたらと思う。
- ・佐伯さんには、国立市と市民のこれまでの取り組みなどを紹介していただき、自身の意見を話していただきたい。前の2つのセルと多少重複するかもしれないが、自身の経験を話していただければと思う。

その他

- ・南部地域在住の方からは苦情等の意見が多く出されることが予測される。6セル目になって行政批判になってしまうことが心配される。参加申込者を見ても谷保、青柳、石田、泉、矢川の人が6名とのこと、一番参加してもらいたい人が少なく残念だ。
- ・グループ討議がまとまらないのではないかと不安や落とし所を決めたいという気持ちが起こってくるが、実行委員会でそれをやってはいけない。あくまでも市民の意見としてまとめていただければいいようにしていきたい。
- ・前回の模擬討議会で、情報提供者に影響されることを実感した。
→模擬討議会は情報提供者が1人だったが、本番は2人の視点の違う情報提供を受けることで、あとは参加者が判断する。情報提供者には市民討議会の特性や2日間の流れをしっかりと伝えておくことが重要で、あとは参加者に委ねるしかない。
- ・2人の情報提供の順番はその場でくじ等で決めるのが、しこりが残らず良いと思う。

【集約】

- ・ 6セル目のテーマ名の変更案については、次回に小針委員から説明願うということで今回は保留となった。
- ・ 情報提供者のご自身の主張（お考え）を尊重し、話の内容にはあまり注文をつけず、政治的アピールをしない等のルールだけ守ってもらえるようお願いする。（この枠の中で話してください）
- ・ 平林さん（テーマ①）
資料のとおり、農業、自然、歴史・文化とする。これから発展する魅力もあればお願いしたい。
- ・ 関さん（テーマ②）
農地が無くなってしまふ、体験水田をしっかりと残して子どもたちに教えていかないと、道路が狭いなど農業者と生活者としての南部の課題を発言していただく。
- ・ 田中さん（テーマ②）
産廃の話（区画整理後の土地利用）が出ると思うが、時間内に収めてもらう。
- ・ 観光まちづくり協会（テーマ③）
これまでどんなことをしてきたか、現状、限界、今後の展望などを話していただく。
- ・ ミニコミ誌個人の方（テーマ③）
個人の動き、個人でもできること、反対に個人の動きでの限界などを話していただく。
- ・ 遠藤さん（テーマ⑤）
区画整理等を行ったことで経済的な豊かさがもたらされていくことを話していただく。
- ・ 阿部さん（テーマ⑤）
自然などお金に代えられない豊かさについて話していただく。
- ・ 高橋さん（テーマ⑥）
まちづくりの実例、実践例をお話しいただき、行政・諸団体・市民の連携の事例を話してもらう。
- ・ 佐伯さん（テーマ⑥）
国立市と市民のこれまでの取り組みなどを紹介していただき、ご自身の意見を話していただく。
- ・ 情報提供者が複数いるセル（②～⑥）の話す順番は、くじ引き（その場）で決める。
- ・ 小針委員提供資料のサブテーマの説明文は、各情報提供者が話す前に全体にアナウンス（説明）する。
- ・ ④⑤⑥については引き続き次回に検討する。

3. その他

①事務局から配布資料に基づき、基本計画づくりの手順における市民討議会の位置づけを改めて説明した。

②次回以降の実行委員会の日程

第12回 2月6日（金） 情報提供の内容について

※公開抽選会は行わず実行委員会とする。

第13回 2月12日（木） 運営の流れについて

第14回 2月20日（金） 会場にてリハーサル（要会場確認）

以上